

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-7



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者から「学食めぐり」をテーマに取り上げて欲しいとの要望がありました。最近是一般の人も食べられる学食が増えていますので、新シリーズとして東京にある大学キャンパスの学食をめぐり・紹介します。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。食べたいメニューが複数あり、複数回、足を運ぶこともあります。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。

今回はキリスト教(プロテスタント系)両大学の学食めぐりです。メニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないように注意です。最寄り駅は代表例です。

〔明治学院大学〕 港区白金台 1-2-37

最寄駅 三田線 白金台駅

ウォーキングイベントで脇を歩き、外から大学の建物を見ましたが、構内に入るのは初めてです。正門受付で見学の手続きをします。団体での見学は広報室へ事前申し込みが必要とのこと。開国直後の安政6年(1859年)アメリカ長老教会から派遣され来日した医療宣教師ジェームス・カーティス・ヘボン(ヘボン式ローマ字の考案者)が文久3年(1863年)横浜で開設した「ヘボン塾」(後に男子部が明治学院、女子部はフェリス女学院となる)が起源。築地に移り、3つの神学校が合体、明治20年(1887年)現在の白金キャンパスに移り、「明治学院」として開校。キリスト教による人格教育を提唱した、日本最古のキリスト教主義学校(ミッションスクール)とのこと。大学設置は昭和24年(1949年)。正門を入ると歴史的建造物が多く保存されています。写真下の礼拝堂と明治学院記念館は港区有形文化財に指定。



明治学院礼拝堂（チャペル）



明治学院記念館（内部公開）



写真左は明治学院インブリー館（宣教師館）で 1880 年代のアメリカの木造建築様式を取り入れた西洋館、学院で教える宣教師達が住んだとのこと。国の重要文化財に指定。

学食はヘボン博士（明治学院 初代総理）の胸像を過ぎて、構内奥の建物（写真下右）にあります。



右下が入口で、2 階はカフェになっています。



営業時間は 11 時からでメニューは 260 円～520 円と多彩です。熱々の鉄板マーボ豆腐 500 円（サラダ付き）を注文。



「青山学院大学」 渋谷区渋谷 4-4-25

最寄駅 銀座線 表参道駅

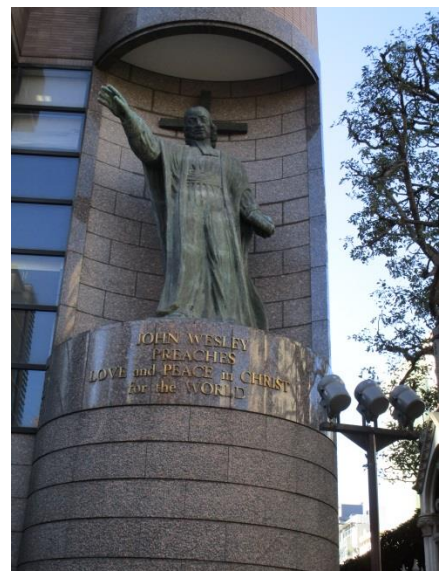
寅次郎、南青山高樹町が勤務地の時もありましたが、大学の脇を通り過ぎるだけで、大学構内に入るのは初めてです。

渋谷駅から歩いて約 10 分です。

明治時代初期に米国メソジスト教会から派遣された宣教師達が設立した 3 つの学校を母体とするミッションスクールで、創立は明治 7 年（1874 年）、大学設置は昭和 24 年（1949 年）です。

校名は東京英学校、東京英和学校を経て、移転の地「青山」を学院の校名としたとのこと。知識偏重にならないため、幅広い教養教育（リベラルアーツ）を重視。ペギー葉山の「学生時代」や箱根駅伝など大学駅伝の連覇でその名を高めました。どの大学も女子学生が多く見られますが、この大学は特別で、女子学生の方が多いくらいです。学院資料センターの展示を見ると、創立時は女子小学校、昭和 2 年（1927 年）青山女学院と統合して、現在の青山学院となっているので女子が多いのは当然ですね。

正門(写真下左)を入り、すぐ右手にはメソジスト教会の始祖 ジョン・ウェスレーの像(写真下右)があります。





直進すると右手にガウチャー・メモリアルホールがあります。
 (写真左) 莫大な私財を献金し、初期の青山学院を支えた牧師ジョン・F・ガウチャーを記念して平成13年(2001年)に建てられました。1~2Fは記念礼拝堂、3F以上は研究室他とのこと。

左手に行くと昭和6年(1931年)神学部校舎として建築したベリーホール(写真下左)があります。現在は本部棟として利用されています。国登録有形文化財に指定。関東大震災で倒壊した校舎の復興募金活動に尽力したベリー元神学部長に由来とのこと。オスカー・ミラー夫人の寄付で建築、中には記念礼拝堂があり、日本最古のパイプオルガンが備えられているとのこと。卒業生の平岡精二が礼拝堂をイメージして「学生時代」(♪ 薫のからまるチャペルで 祈りを捧げた日...) を作詞・作曲、同じく卒業生のペギー葉山が歌い、昭和40年(1965年)大ヒットしました。歌い継がれて、第二の校歌とも呼ばれているそうです。ホールの左手前に歌詞が書かれた**記念碑**(写真下右)がありました。



更に右手には**間島記念博物館**(写真右)があります。東京英和学校(青山学院の前身)を卒業・校友会会長・理事の間島弟彦(1871年~1928年)の遺志によって建てられました。



母校へ図書館を寄付しようとの間島弟彦の希望を愛子夫人が遺志を継ぎ、図書館の建築費として多額の寄付をしました。昭和4年（1929年）関東大震災の後に建築された最も古い建物として国の登録有形文化財に指定。昭和52年（1977年）に新しく大学図書館が建築され、図書館の役目を終え、間島記念館と名を改めて、昭和62年（1987年）青山学院資料センターを開設しました。館内正面には愛子夫人の名を付けた「愛」の像（写真右）があります。展示室は2Fで、青山学院の歴史を学ぶことができます。



大学公式サイトにスクール・モットーは「地の塩 世の光」（聖書マタイによる福音書第5章13～16節より）と掲載。

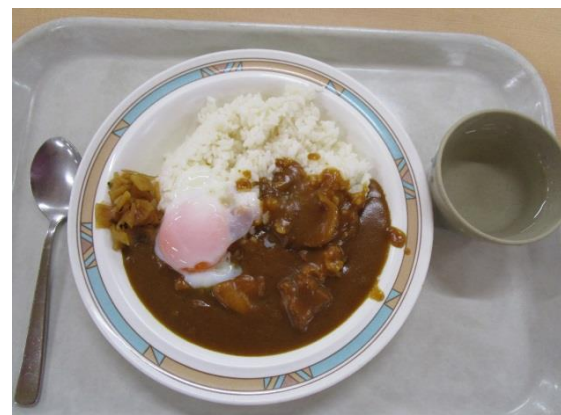
地の塩とは「目立たぬ行いで人のため社会のため意味を与え、腐敗を防ぎ、汚れを清めて行く人材を学院は輩出していきます」

世の光とは「目立つ行いで希望の光として励ましと力、エネルギーを周囲に発していくことを本院は努めます」又『キリスト教の信仰に基づく教育をめざし、本学では毎日礼拝が行われ、「キリスト教概論Ⅰ・Ⅱ」は全学部生の必修』と記載。

学食は2か所あります。大学購買会の前の17号館1F イチナナ食堂と正門の先、左手の7号館ブックカフェ B1F ナナチカ食堂。メニューに大差はありませんが、新しい建物の1Fで明るい雰囲気のイチナナの方が人気があるようで混雑していました。



イチナナ食堂（17号館1F）
そばろ丼 300円



ナナチカ食（7号館B1F）
トロトロ卵カレー320円

いずれもお買い得品で、美味しくいただきました。

これにて、平成 29 年(2017 年)の学食めぐりは納めです。
1 年間「寅さん歩」のご愛読 ありがとうございました。

良いお年をお迎えください。

次回は 東京の学食めぐり-8 です。

平野 寅次郎 拝